

## 2007年9月(第82回)景気定点観測アンケート調査結果(速報)

### 1. 景気の現状について

現在の我が国の景気動向をどのように判断されますか。

景気は拡大しているとの回答が引き続き最も多いが、横ばいとの回答が業種・地域を問わず増加した。

図表1

全体(回答数223人)(社)経済同友会(169人)各地代表幹事(54人)

調査時点							(回答比%)	
	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9	(社)経済同友会	各地代表幹事	
拡大している	7.3	3.0	1.4	1.8	0.4	0.6	0.0	
緩やかに拡大している	82.8	80.2	84.9	80.8	74.9	77.5	66.7	
横ばい状態が続いている	9.2	16.9	12.7	15.6	23.3	20.7	31.5	
緩やかに後退している	0.8	0.0	0.9	1.3	1.3	1.2	1.9	
後退している	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

図表2

### 製造業

(回答数76人)

	(回答比%)						
	2006/3	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9
拡大	97.9	93.5	89.9	84.9	87.5	86.1	78.9
横ばい状態	2.1	6.5	10.1	15.1	12.5	13.9	18.4
後退	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6

### 非製造業

(回答数147人)

	(回答比%)						
	2006/3	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9
拡大	94.8	91.8	90.1	81.9	85.6	80.7	73.5
横ばい状態	4.5	7.5	8.6	18.1	12.9	16.6	25.9
後退	0.0	0.0	1.2	0.0	1.5	2.8	0.7

### (社)経済同友会

(回答数169人)

	(回答比%)						
	2006/3	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9
拡大	96.8	93.3	91.0	88.5	87.2	87.1	78.1
横ばい状態	3.2	6.7	8.5	11.5	11.5	12.9	20.7
後退	0.0	0.0	0.5	0.0	1.3	0.0	1.2

### 各地経済同友会代表幹事

(回答数54人)

	(回答比%)						
	2006/3	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9
拡大	93.8	90.0	87.1	68.3	83.9	68.5	66.7
横ばい状態	4.7	8.3	11.3	31.7	16.1	24.1	31.5
後退	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	7.4	1.9

「拡大」は「拡大」、「緩やかに拡大」の合計。「後退」は「後退」、「緩やかに後退」の合計。

2. 2007年度後半(07年10月～08年3月)の景気見通しと主要な経済指標について

07年度後半も引き続き、景気は拡大するとの見方が多いものの、横ばいと回答が目立って増加した。「拡大している」「緩やかに拡大している」の合計は58.4ポイントであり、これは2005年3月調査(41.5ポイント)以来の低水準(日銀短観・業況判断DIとの比較グラフ参照)。理由としては、個人消費の低迷・輸出の減速を挙げる声が増加した。

(1) 2007年度後半(07年10月～08年3月)の景気についてどのようにお考えですか。

図表3

全体(回答数221人)(社)経済同友会(167人)各地代表幹事(54人)

回 答	全体				(回答比%)	
	現状判断	07/3月時*	07/6月時*	今後の見通し	(社)経済同友会	各地代表幹事
拡大する	0.4	1.9	2.7	0.0	0.0	0.0
緩やかに拡大する	74.9	80.7	73.5	58.4	63.5	42.6
横ばい状態が続く	23.3	15.6	22.0	37.1	31.7	53.7
緩やかに後退する	1.3	0.9	1.8	4.1	4.2	3.7
後退する	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.9	0.0	0.5	0.6	0.0

注) P2の今回調査の景気判断の数値です。

\*注) 07/3月時の回答は07年4月-07年9月、07/6月時の回答は07年7月-07年12月についての見通しです。

(2) そのように判断する根拠をお選び下さい(2つまで)。

図表4

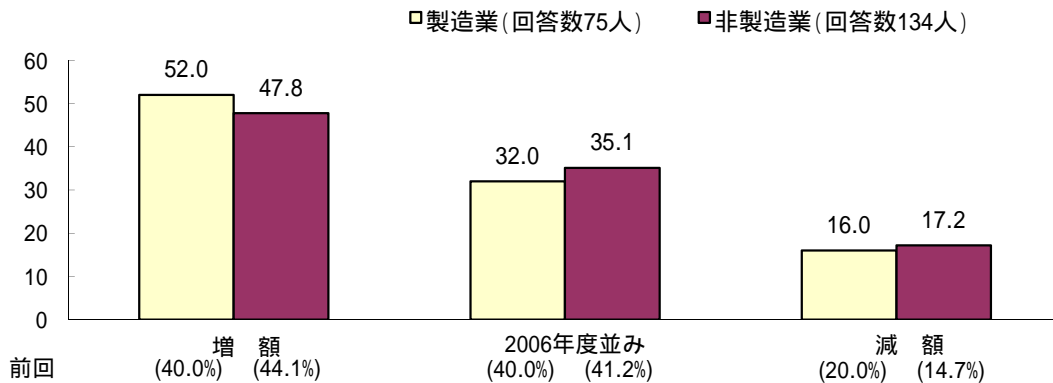
全体(回答数221人)(社)経済同友会(167人)各地代表幹事(54人)

調査時点		全体				(回答比%)	
		2006/12	2007/3	2007/6	2007/9	(社)経済同友会	各地代表幹事
設備投資	好調	49.1	52.9	30.6	38.0	42.5	24.1
	減速	7.0	2.4	9.5	5.0	4.8	5.6
企業収益	好調	51.3	64.4	52.3	37.6	39.5	31.5
	減速	3.5	2.9	3.2	10.9	10.2	13.0
個人消費	回復	26.5	23.1	45.0	19.9	21.0	16.7
	低迷	21.7	11.1	12.2	22.2	18.0	35.2
公共投資	増加	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	減少	5.2	2.9	6.3	7.2	4.2	16.7
住宅投資	回復	2.2	1.0	1.4	0.0	0.0	0.0
	低迷	0.9	0.5	0.9	1.8	0.6	5.6
輸 出	好調	12.2	21.2	23.4	19.9	20.4	18.5
	減速	3.5	1.4	3.2	18.6	18.6	18.5
輸 入	好調	1.3	0.5	0.0	0.5	0.6	0.0
その他		3.9	3.8	0.9	4.5	4.8	3.7

3. 貴社の設備投資(2007年度)についてお伺いします。  
 国内の設備投資額(2007年度)は2006年度比でどのようになる予定でしょうか。

07年度の設備投資については、06年度に比べ増額するとの回答が、前回6月調査時に比べ増加した。

図表5

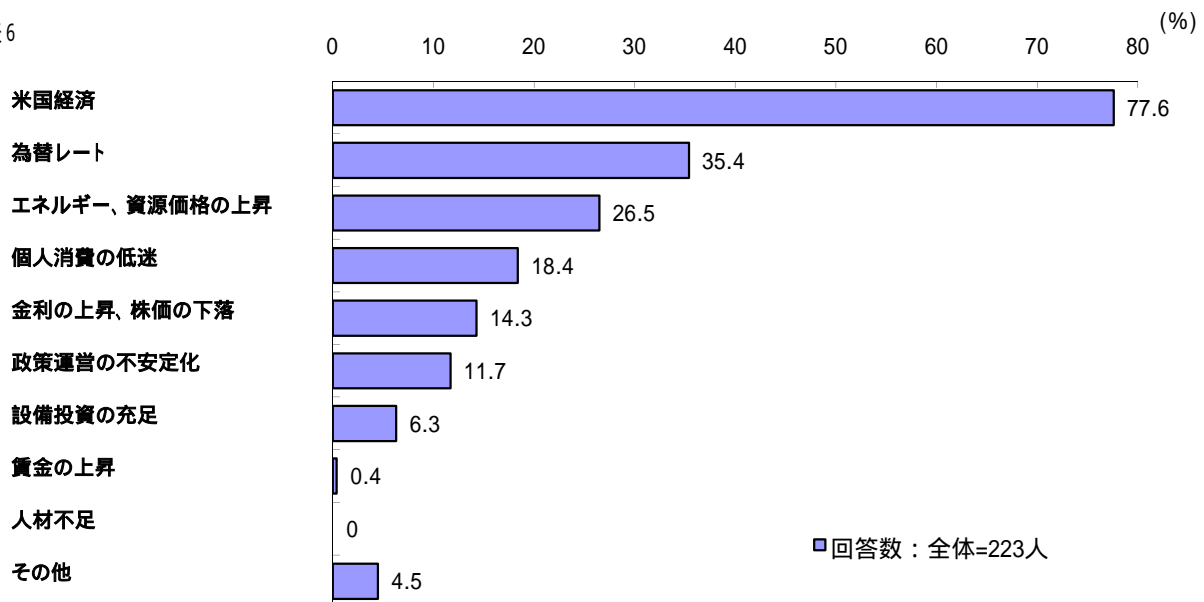


4. 経済見通しについて伺います。

景気拡大へのリスク要因としては、米国経済を挙げる回答が最も多く(77.6%)、為替レート、エネルギー・資源価格の上昇を挙げる声が続いた。  
 日本経済の成長率については、07年度、08年度とも、前回6月調査からほとんど変化はなかった。  
 また、日本銀行の次回の利上げについては、年内との回答が7割にのぼった。

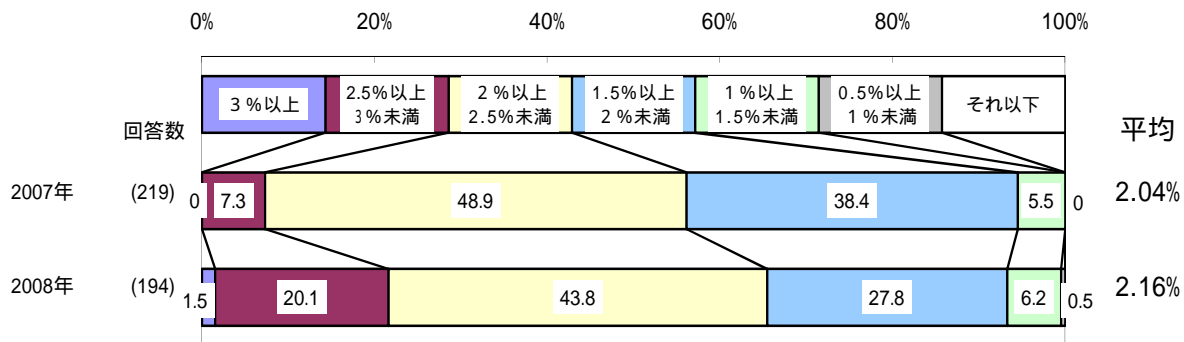
(1) 今回の景気拡大局面が終息する主なリスク要因は何だと思えますか(2つまで)。

図表6



(2)サブプライムローン問題をきっかけに、信用リスクに対する評価が修正されつつありますが、米国の実質GDP成長率は、2007年、08年それぞれどの程度で推移するとお考えですか。  
 なお、今回の株価下落・為替レート変動前の市場予測平均(Blue Chip Economic Indicators: 7月10日付)は2007年2.1%、08年2.9%でした。

図表7



注) 平均値は、各区間の中央値(3%以上は3.25%、それ以下は0.25%と仮定)を加重平均して算出

米サブプライムローン問題によるマーケットの混乱から、8月22日までの1ヵ月で、円ドルレートは約6%円高に、日経平均株価は約12%下落しました。このような中、今後の日本経済についてはどのようにお考えですか。

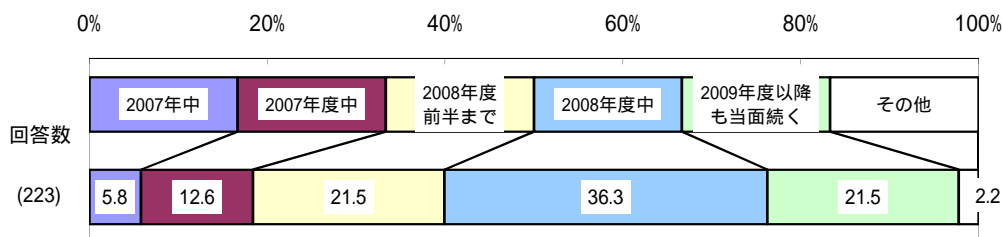
(3)2007年度、08年度の実質GDP成長率は、それぞれ何%程度になるとお考えですか。

図表8

	カッコ内は6月調査時の値	
	2007年度	2008年度
回答数	219	218
平均値	2.04% (2.07%)	1.99% (1.96%)
中央値	2.0% (2.0%)	2.0% (2.0%)

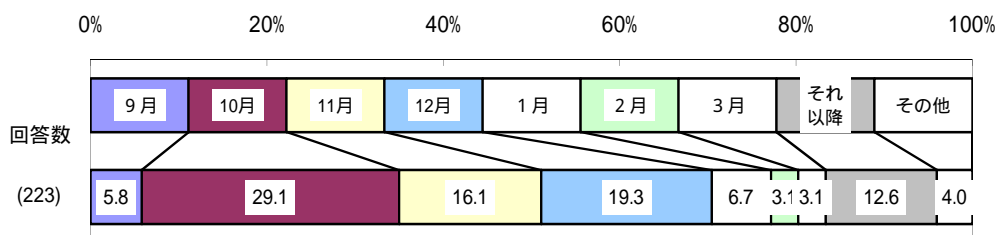
(4)昨年11月に「いざなぎ超え」を果たした日本経済ですが、この景気拡大局面はいつまで続くとお考えですか。

図表9



(5)今回の日本銀行・金融政策決定会合では、利上げが見送られました。次の利上げは、行われるとすればいつとお考えですか。

図表10



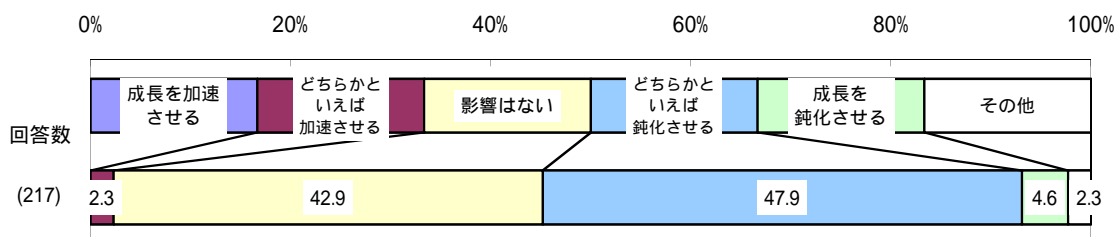
5. 7月29日に投開票の行われた第21回参议院議員選挙の結果、自民党が大敗を喫し、与党が過半数を大きく割り込む結果になりました。

選挙結果が日本経済に与える影響については、「成長を鈍化させる」「どちらかといえば鈍化させる」があわせて52.5%と過半数を占めた。続いて「影響はない」の42.9%となった。

選挙結果を踏まえ、政治が今後優先的に取り組むべき課題としては、「歳出削減の徹底」を1位に挙げる声が多く、「医療・介護・年金制度の一体的見直し」を挙げる声が続いた。順位を考慮してスコアリングすると、1位が「医療・介護・年金制度の一体的見直し」、2位が「歳出削減の徹底」となった。

(1) 今回の選挙結果は、日本の経済成長にどのような影響を与えますか。

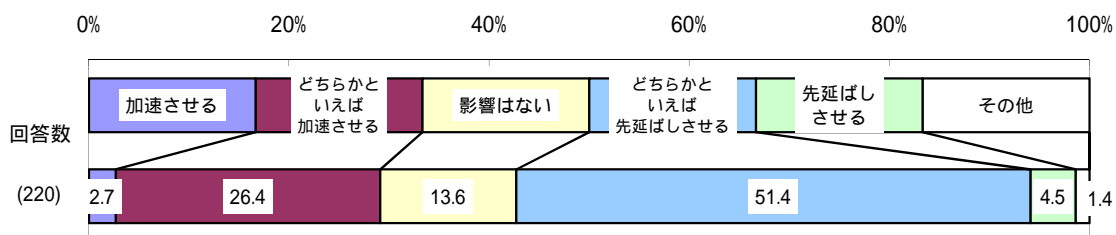
図表11



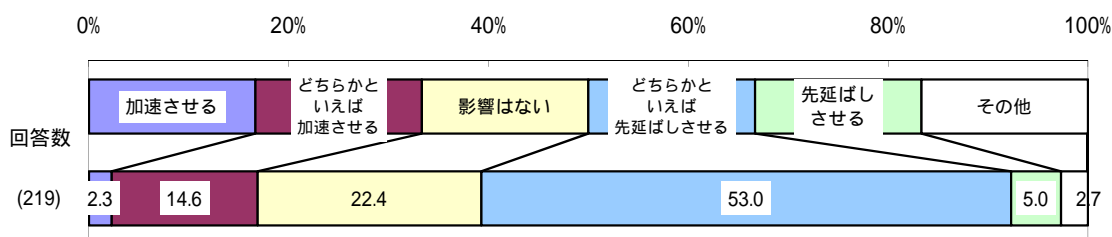
(2) 今回の選挙結果は、以下の政策課題に関する議論にどのような影響を与えますか。

図表12

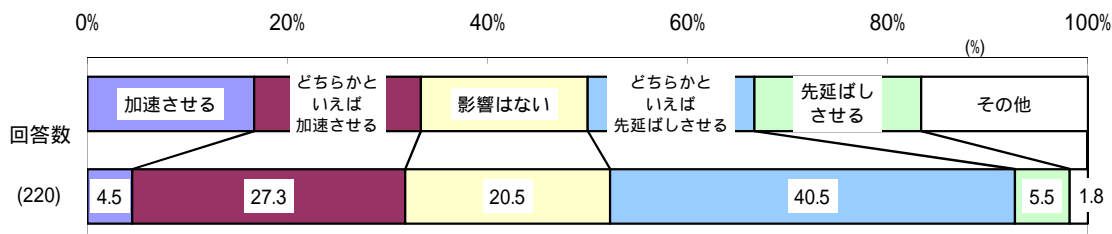
イ) 歳出削減



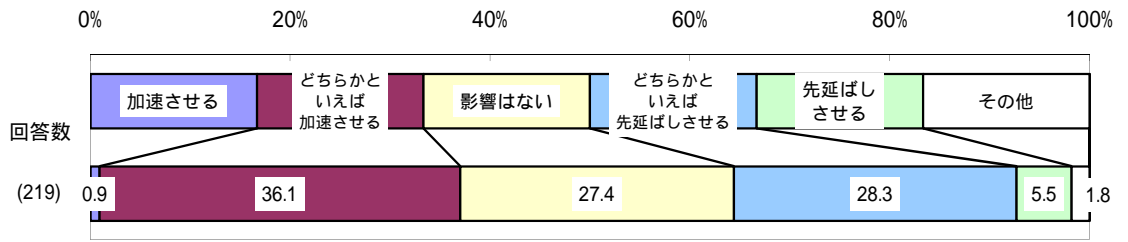
ロ) 規制改革



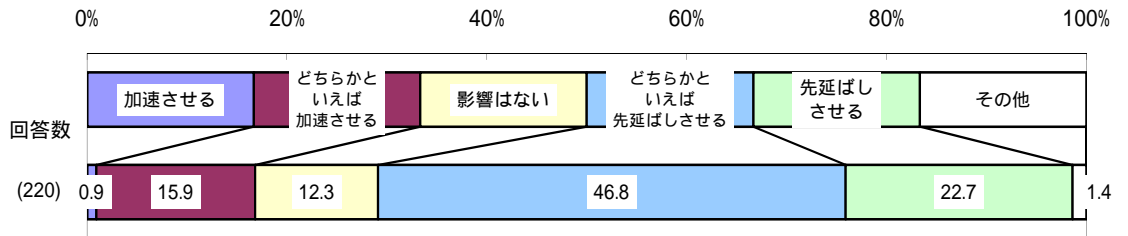
ハ) 公務員制度改革



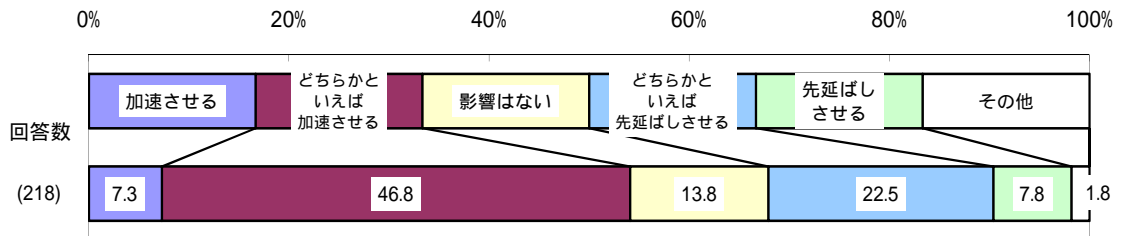
図表13  
二) 地方分権



ホ) 税制改革

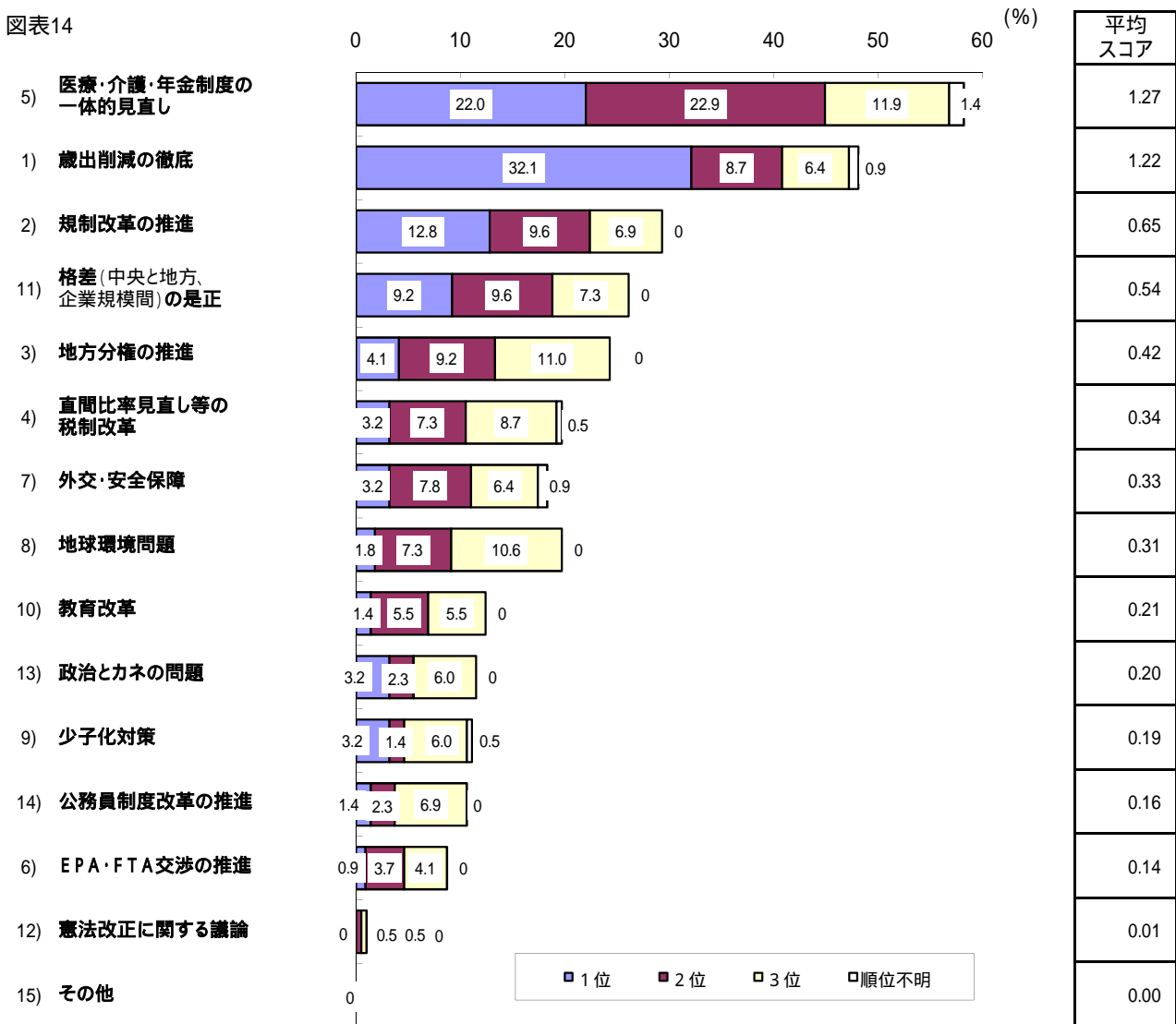


ヘ) 社会保障制度の見直し



(3) 選挙結果を踏まえ、政治が今後優先して取り組むべき課題は何だと思われますか。重要と思われるものから順に3つお選び下さい。

図表14

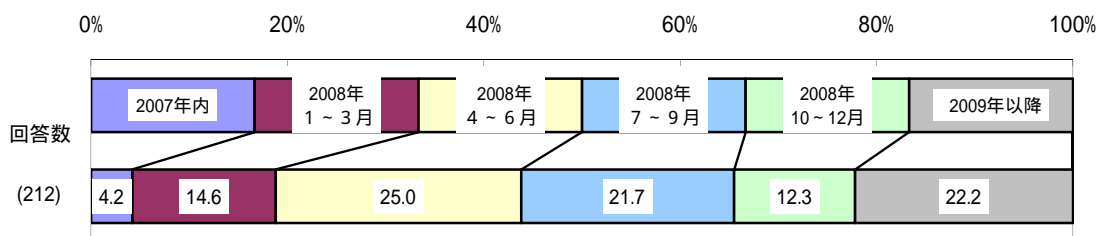


回答数: 全体=218人

注) 平均スコアは、1位: 3点、2位: 2点、3位: 1点、順位をつけていない回答は2点、4位以下: 0点として算出

(4) 次の衆議院議員選挙はいつ頃になると思われますか。なお、任期満了は2009年9月です。

図表15



調査期間: 2007年8月23日～8月31日

調査対象: 2007年度(社)経済同友会幹事、経済情勢・政策委員会委員、その他委員会登録の

経営トップマネジメント(526名)および各地経済同友会代表幹事(81名) 計607名

集計回答数: 223名(回答率=36.7%) (製造業76名、非製造業147名)

((社)経済同友会会員169名、各地経済同友会代表幹事54名)

\* 本調査は年4回(3月、6月、9月、12月)実施